

見本

～今月の目次～

- 【1】 今月のニュース・トピックス
 - (1) 行政機関、公的機関などの動き、情報
 - (2) 産官学連携関係トピックス
 - (3) 工業会、調査予測会社などの調査レポート情報
- 【2】 技術経営 一口解説 －特許出願を推進すれば、企業の業績は向上するのか
- 【3】 先端技術キーワード解説 －ペロブスカイト
- 【4】 国内イベント予定
- 【5】 今月の一言 －依存症だけではないギャンブルの怖さ
- 【6】 後記

本内容は、ティー・エムレポート会員様 専用 ティー・エムレポートの抜粋です。
ご興味のある方は、「ティー・エムレポート会員」になられることをお勧めします。

お申込み方法は、info_tm-lab@mbn.nifty.com 宛て、メールにてお申込みお願いします。
なお、パンフレットは、<http://tm-lab.a.la9.jp/top/pamph-2.pdf> をご覧下さい。

【1】 今月のニュース・トピックス

(1) 行政機関、公的機関などの動き、情報

1. 有形資産と無形資産の代替・補完関係 ー日本の企業レベルデータの分析ー 細野 薫 他

経済成長のドライバーとして、無形資産への期待が拡大している。下図は1985年から2010年までの有形資産と無形資産の投資額（出典：RIETI JIP データベース）を示したものであるが、90年代以降の時期において有形資産投資（実線）が明確な減少傾向を示す中、無形資産投資（破線）は安定的に増加していることが分かる。ここで計測されている無形資産は、研究開発投資の帰結である研究開発ストックのほか、情報関連資産の一類型であるソフトウェア資産や、広告宣伝支出をストック化したものを含んでいるが、企業の事業活動が高度化するにつれて、こうした無形資産の果たす役割が今後ますます大きなものとなることが予想される。

.....

2. 人工知能市場など30兆円に 20年目標 首相官邸

政府は、4月19日に開いた産業競争力会議で、「国内総生産（GDP）600兆円」の実現に向けた重点分野別の目標値を示した。今はほとんど存在しない人工知能（AI）やビッグデータなどの先端技術の市場の規模を、2020年に30兆円に育てることなどが柱。官民一体で重点分野に取り組むことで、経済成長のけん引役にしたい考えだ。数値目標は5月に策定する新しい成長戦略に盛り込む。

.....

(2) 産官学連携関係トピックス

1. 産官学連携ジャーナル情報 (科学技術振興機構 (JST) 発行) 4月号より

■巻頭言：産学連携による化学人材育成

一般社団法人日本化学工業協会 専務理事 西出 徹雄

.....

■特集：宇宙航空技術を産学官連携で身近なものにする

.....

(3) 工業会、調査予測会社などの調査レポート情報

1. ANA システム障害の原因判明、シスコ製スイッチの「世界初のバグ」で DB サーバーがダウン

日経コンピュータ

全日本空輸 (ANA) は 2016 年 3 月 30 日、3 月 22 日に発生した国内線システムの不具合について、原因や再発防止策などを公表した。国内線システムの 4 台のデータベース (DB) サーバーをつなぐ米シスコシステムズ製イーサネットスイッチの故障が原因だった。

.....

2. 2016 年、ICT 産業の 10 大トレンドを分析 台湾工業技術研究院 (IEK)

2016 年、ICT 産業はモノのインターネット (IoT : Internet of Things) をベースに、ハードウェアや端末はスマート機器へと発展していく。進化の鍵を握るのは、センサー、識別、機器の学習、ネットワークセキュリティ、ネットワーク機能のバーチャル化などである。こうしたキーテクノロジーのニーズが爆発的に拡大する。

.....

3. 「過去の成功」を捨てられない全ての企業へ

— アドビ首脳陣が語る「成功モデルの捨て方」 日経ビジネス

クリエイティブソフトウェア世界最大手の米アドビシステムズが好調だ。日本時間 2016 年 3 月 18 日に発表した 2016 年第 1 四半期の業績は、13 億 8000 万ドルで過去最高。2015 年度は 48 億ドルの過去最高の売り上げを達成している。

.....

4. 人に寄り添う機能が進化、シャープの「RoBoHoN」 EE Times Japan

シャープは 2016 年 4 月 14 日、東京都内で記者会見し、モバイル型ロボット電話「RoBoHoN (ロボホン)」を発表した。同社が進める「ココロプロジェクト」製品の第一弾となるもので、AI (人工知能) 技術や音声認識技術などを駆使することで、人に寄り添う機能を進化させている。利用者が愛着を感じることができる次世代の情報通信端末と位置付ける。

.....

5. 人の肌が“生体情報を映すディスプレイ”に 「超柔軟フォトニックスキン」、東大が開発

日経デジタルヘルス

スマートウォッチではなく、腕自体を“生体情報を映すディスプレイ”に——。人の体により溶け込んだ形のウェアラブル生体センサーが、実現へと大きく近づいた。東京大学大学院 工学系研究科 電気系工

学専攻 教授の染谷隆夫氏らの研究グループは、極薄のシート状で柔軟な有機 EL 光源を開発し、大気中で安定に動作させることに成功した。同一シート上に有機フォトダイオードを集積し、肌に貼り付けて酸素飽和度や脈拍数を測れることも実証した。このシートには生体適合性の基材を使っており、粘着性材料で肌に貼り付け、使い捨てで使用することを想定している。

.....

6. セブン混乱の教訓「忖度文化が独裁を生む」 佃秀昭・エゴンゼンダー社長に聞く 日経ビジネス

セブン&アイ・ホールディングスは本日の取締役会で新たな経営体制を決定する予定だ。同社子会社セブンイレブン・ジャパンの社長人事を巡る混乱は、日本企業が抱えるコーポレートガバナンスの課題を浮き彫りにした。その最大の問題点は、「トップの意向を忖度する文化」だ。ガバナンス問題に詳しいエゴンゼンダーの佃秀昭社長に話を聞いた。

.....

7. やり切れない三菱自動車の燃費偽装 一事業構造の抜本的な再構築が不可避 鶴原 吉郎

やはり、書かなければならないだろう。4月20日に発表された、三菱自動車の燃費偽装事件のことだ。インターネットの実況中継を見ていたが、見れば見るほどやりきれない気持ちになった。規模の小さい完成車メーカーが今の競争環境の中で生き残っていくことが、いかに厳しいかをひしひしと感じたからだ。

.....

[経営のジレンマ –その 99]

企業経営は、常に不確実なことを十分とは言えない情報や時間のもとに意思決定をすることが求められます。しかも、この意思決定は企業の業績を大きく左右していきます。

本レポートでは、意思決定が必要となる代表的な項目について、項目別に解説をしております。今月は、九十九番目として「特許出願を推進すれば、企業の業績は向上するのか」について解説します。

(99) 特許出願を推進すれば、企業の業績は向上するのか

近年、知的財産は注目されています。技術が進歩するに従い、技術の競争は激しくなっています。その中で、一定期間、独占排他的に使用できる権利が持てるからです。誰もが血眼になります。

国際的に見ると、日本は、残念ながら、知財の世界では劣勢の状況にあります。このため、国も力をいれています。内閣に知的財産戦略本部を設置し、知的財産の創造、保護及び活用に関する施策を集中的かつ計画的に推進しています。

このような啓蒙活動により、全体に、知財に対する意識は上がったと思いますが、少し、ずれている印象がないわけでもありません。

それは、知財、特に、特許について、活用が多様化しつつあるにもかかわらず、あいも変わらず、技術者はひたすら出願・権利化、企業は特許で市場の独占を目指しているように思えることです。

技術が専門化、高度化していることから、研究開発にも莫大な費用がかかるようになりました。このため、全ての範囲を自社の知財で網羅することは現実的とは言えなくなっています。

また、特許の優劣は量（件数）だけではありません。むしろ、質が重要です。独創的・革新的であり、産業上の効果が大きいほど効力のある特許となります。それを生み出すためには、お金と時間をかければよいというものではありません。

それでは、知財を取り巻く環境はどのように変わっているのでしょうか。それには、どのように対応すればよいのでしょうか。それについて、基本を確認しながら、議論をしたいと思います。

本内容は、ティー・エムレポート会員様 専用 ティー・エムレポートに記載されていません。

ご興味のある方は、「ティー・エムレポート会員」になられることをお勧めします。

お申込み方法は、info_tm-lab@mbn.nifty.com 宛て、メールにてお申込みお願いします。

なお、パンフレットは、<http://tm-lab.a.la9.jp/top/pamph-2.pdf> をご覧下さい。

【3】先端技術キーワード解説

[ペロブスカイト]

最近、太陽光発電の分野で、耳慣れない用語を頻繁に聞くようになりました。「ペロブスカイト」です。政府が進めている「エネルギー・環境イノベーション戦略」の次世代太陽光発電分野でも、革新技術として、「量子ドット」、そして、この耳慣れない「ペロブスカイト」が挙げられています。

.....

本内容は、ティー・エムレポート会員様 専用 ティー・エムレポートに記載されています。

ご興味のある方は、「ティー・エムレポート会員」になられることをお勧めします。

お申込み方法は、info_tm-lab@mbn.nifty.com 宛て、メールにてお申込みお願いします。
なお、パンフレットは、<http://tm-lab.a.la9.jp/top/pamph-2.pdf> をご覧下さい。

【4】国内イベント予定

会期は一般公開日です。内容が変更になる場合がありますので、必ず主催団体にご確認ください。

日付	イベント			
5月11日 ～13日	Japan IT Week 春 2016			
	主催	リード エグジビション ジャパン (株)	場所	東京ビッグサイト
	URL	http://www.japan-it.jp/		
5月11日 ～13日	第15回 ライフサイエンス ワールド			
	主催	リード エグジビション ジャパン (株)	場所	東京ビッグサイト
	URL	http://www.lifescience-world.jp/		
5月13日	付加価値ある意匠デザインを実現するものづくり技術 2016			
	主催	日経 BP 社	場所	ベルサール東京日本橋
	URL	http://techon.nikkeibp.co.jp/seminar/160513/?xadid=8594		
5月17日	無機-有機ハイブリッド樹脂の開発と機能性コーティングへの展開 (参加費 1,500 円)			
	主催	NPO 法人 科学技術者フォーラム	場所	品川区立総合区民会館
	URL	http://stf.or.jp/top/news.php?SN=387&page=1&cate=cate01		
	記事	本ティー・エムレポート会員は、本フォーラムの関連団体となっています。 このため、参加費 一般 2,000 円のところ 1,500 円で参加できます。 セミナー終了後、講師(元 アトミクス株式会社 佐熊 範和 先生)を囲んだ懇親会(実費)も予定されています。		
5月18日	「モバイル活用支援フォーラム 2016」 ～新たなサービスや製品が続々、今こそ見直しの時期～			
	主催	日経コンピュータ、ITpro	場所	秋葉原コンベンションホール
	URL	http://ac.nikkeibp.co.jp/ncc/mobile2016_05/		
5月23日	Customer Success Stories 2016			
	主催	日経ビジネスオンライン、IT ホールディングスグループ、日本オラクル	場所	コンラッド東京
	URL	http://ac.nikkeibp.co.jp/nbo/css0523/		
5月24日 ～27日	2016 地球温暖化防止展			
	主催	日経ビジネス株式会社	場所	東京ビッグサイト
	URL	http://www.nippo.co.jp/stop-ondanka16/		
5月25日	IBM Watson Summit 2016			
	主催	日本アイ・ビー・エム株式会社	場所	グランドプリンスホテル新高輪
	URL	http://ibmevent.jp/watsonsummit2016/?utm_source=Paid&utm_medium=Paid_Softbank&utm_campaign=P03		
5月25日 ～27日	ワイヤレスジャパン 2016			
	主催	株式会社リックテレコム	場所	東京ビッグサイト
	URL	http://www8.ric.co.jp/expo/wj/		
5月25日 ～27日	主要国と中国の科学技術協力について			
	主催	公益社団法人 自動車技術会	場所	パシフィコ横浜
	URL	http://expo.jsae.or.jp/		

【5】 今月の一言

またかと思う事件がありました。先日、巨人の野球選手が野球賭博問題で処分を受けたばかりです。今度は、バドミントンの選手です。日本トップクラスの選手が違法カジノに出入りしていたとのこと。一人は、日本選手権 6 連覇の実績のある T 選手、もう一人は、現在、世界ランク 2 位、まもなくリオで開催されるオリンピックで金メダルを狙える M 選手です。何とも、驚きました。

相次いで起きている賭博事件ですが、当事者の法を犯している認識をあまり感じません。これほど、適法と違法の境界が曖昧な行為がないからかもしれません。

例えば、国や地方公共団体が主催する宝くじ・公営競技といった公営ギャンブルは適法です。パチンコも厳しい規制がありますが、適法です。さらに、(胴元のいない) 仲間内で、ゲームなどのスリルを高めるために、一時的に、食事代程度を賭けるなどは、法には触れないとされています。

それでは、なぜ、法律で禁止されているのでしょうか。

その根拠は、「国民の射幸心をあおる行為(賭博行為)は、勤労によって財産を得ようとするという健全な経済的風俗を害する」とのことです。本来、報酬は、汗をかいた労働によって得られるべきです。国民全体がこれに向かえば、国全体が豊かになります。反対に、労働らしい労働もせずに、(賭博で) 金品が得られるかもしれないとなれば、労働意欲は失われていきます。その結果、国全体が貧しくなります。しかも、その少ない富を、(賭博によって) 奪い合うことになってしまう可能性があります。

一方、法律とは別に、注意すべきことがあります。『ギャンブル依存症』になってしまうことです。

賭博(ギャンブル)は、確率からすれば、胴元以外は、必ず損をします。世の中を見渡しても、パチンコ、競馬、競輪などで儲かっている人はいません。

それを感じなくさせるのは、時々、勝つようにできているからです。(これが、ギャンブルにはまってしまう最大のポイントです。)しかも、勝つ時は、一瞬にして大きなお金が手に入ります。この『成功体験(?)』は強烈です。脳に深く刻み込まれます。このため、無意識に「次は勝つかも」と考えるようになります。

これが、「依存症」になる原因です。いくら負けても、「次は勝つかも」としか考えないわけですから、手元のお金がなくなれば、負けを取り戻そうとして借金をしてしまいます。これは、穴の開いたバケツに、次々に貴重な水を入れるようなものです。(制御不能な状態です。)人生・家庭は崩壊していきます。

前出のバドミントンの T 選手は、ギャンブルの負けが 1,000 万円になっていたとのこと。さらに驚くのは借金です。後輩への借金が 1,200 万円ほどあったとのこと。……。破綻状態です。

ところで、一般庶民に親しまれているギャンブルに「宝くじ」があります。この宝くじを買うために借金をする人はいません。健全な娯楽のように思えます。そこでは、毎年、「高額当選者」が生まれています。羨ましいと思います。ところが、その実態はどうなのでしょう。

実は、「高額当選者」の多くの人が、当選前より不幸な状態になっているとのこと。人間関係では、家族関係が崩壊、親戚・友人関係がおかしくなったなどが起きています。賞金に関しては、70%の人が、受け取った賞金すべてを 5 年後までに失っているそうです。それどころか、賞金を使い切った後は、当選前より、むしろ、貧しくなっているとのこと。

宝くじで、「依存症」になる人はいません。それは、強烈な「成功体験(?)」がないからです。

ところが、幸運(?)にも、「高額当選者」になることができれば、その先は、優雅な生活どころか、考えてもいなかった『不幸』が待っています。

「お金」は、人の人生をどん底に突き落とすほどのパワーを持っています。ただ、その働きは、実に単純です。楽をしてお金を得ようとするれば、お金をどんどん失います。一方、楽をしてお金を得てしまえば、そのうち、それ以上のお金が消え、しかも、お金以外でも相当の苦しみを与えられます。

「お金」は、楽をして得ようとする人、楽をして手に入れた人を嫌いなのです。

【6】後記

天災は、忘れた頃にやってくると言います。ここしばらく、大きな天災がないとおもったら、やはり、自然は暴れん坊(?)です。今月中旬、熊本地震が発生しました。この地震では、熊本県熊本地方、阿蘇地方、及び、大分県で、規模の大きな地震が相次いで発生し、被災地に大きな被害をもたらしました。

この地震の特徴は、震度7クラスの大きな地震が、連続して起きたこと、しかも、後で起きた地震の方のマグニチュードが高かったことがあります。そして、広域に発生していること、余震が非常に多かったことがあります。どちらも前例(?)がないとされています。

これらが、実質的な被害を大きくしたばかりではなく、被災者の方々を精神的にも追い詰めています。いつ終わるか、どこまで広がるかがわからないからです。

自然のエネルギーは、人間が制御できるレベルとは桁違いです。震度7クラスの地震がくれば、いくら強度の高い建物、橋、道路などを造ったとしても、ひとたまりもありません。土台になっている地面が激しく揺れるからです。良く言われる耐震構造などの対策は、もちろん、効果的ですが、限界があります。それは、低い震度では持ち堪える、あるいは、地震で破壊される程度が軽減される程度です。つまり、被害は軽減できても、安全ということではありません。

そうだとすれば、地震に対する最も確実な対策は、地震が起きる可能性のある地域に住まないこと、そこで活動しないことです。さらに、全体に、リスクを低減する都市計画などを進めていくことです。

このために、何としても必要なことは地震が起きる可能性のある地域を特定していくことです。それが明確になれば、長期的に、その地域から安全な地域に移る計画ができます。

さらに、リスク低減のために、特定の地域に集中している人や社会活動などを周辺の地域に分散させていくことが必要です。特に、現在の東京への一極集中は、国として危険極まりない状態のように思えます。

今回の熊本地震は、ほとんどノーマークの地域でした。これまで、話題になっていたのは南海トラフ地震、首都直下型地震などでした。(これらの話は何だったのかも思います。)

今、報道では、地震の起きた断層、メカニズムなどについて、(専門家(?)とされる人たちから、わかりにくく、)繰り返し解説されています。起きたこと(過去)も分析も重要だとは思いますが。ただし、被災者、視聴者が知りたいと思っているのは、これから何が起きるか(未来の予想)です。・・・。

当研究所では、技術・経営関係の戦略・手法などの調査・研究を行っております。会員になられた方々には、月に1回、本ティール・エムレポートを編集、配布しております。本レポートにより、技術・経営関係の経営者、研究者、技術者などの方々に、いろいろな面でお役に立てることを願っております。

当研究所の活動詳細は、以下のホームページで紹介しております。ホームページをご覧ください、お気軽にお問い合わせ頂けると幸甚に存じます。

Copyright(C) Satoru Haga, 2016 All rights reserved.

無断転送、転載、転用は固くお断りいたします。

技術・経営の戦略研究・トータルアドバイザ

TM-Lab ティール・エム研究所

E-Mail : info_tm-lab@mbn.nifty.com

URL : <http://tm-lab.a.la9.jp/>

Facebook : <http://www.facebook.com/tmlaboratory>

代表 芳賀 知

工学博士、中小企業診断士、社会保険労務士(登録予定)